

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 令和5年7月16日(日)午前10時～11時30分
場 所 鶴一会館
参加者 22人



主な意見等

参加者 税収の説明がありました。上福岡駅の東口側は大きなマンションの建設やイオンタウンのオープンがあり、人口が増えているように感じます。税収の予測を教えてください。

市長 税収については今のところ横ばいの見込みです。イオンタウンができて、同じ場所に日本無線の工場があったので固定資産税は変わりません。また、法人税についても主に本社地に納められるものであり、市に納められるのは法人市民税のみのため、税収はあまり変わりません。

昨年の決算ベースで170億円ほどが税収として入ってきている状況で、それ以外は国からの交付税や補助金として配分されているものです。コロナで税収が落ち込むことが見込まれましたが、想定より税収は減少しませんでした。

住宅は増えていますが、人口そのものは増加していません。お亡くなりになる方や転出される方もいるため、昨年度は微減となっています。しかし、これから人口が増加することも考えられます。上福岡駅もふじみ野駅も東京から30km圏内にあり、ベッドタウンとして成長してきたまちなので、次のサイクルが起こる可能性を秘めていると感じています。

参加者 文化施設の整備については説明をいただきましたが、屋内プールやジムスペースなどの健康増進施設についての計画はあるのでしょうか。

市長 スポーツ施設につきましては施設改修をはじめ、大井清掃センターの跡地に多目的グラウンドを整備したり、福岡高校の跡地に第2運動公園を整備したりしてまいりました。これまで学校や子どもたちの施設などを優先的に対応してまいりましたが、現在市民プールの整備についての計画はございません。

さらに、介護予防センターを整備したり、ふじみんぴんしゃん体操の普及を行ったり、健康増進につきましても充実させてまいりました。また、今年度は一部の小・中学校の水泳授業を民間のプール事業者に移管する取り組みを試行的に始めました。学校のプールは19か所ありますが、すべて老朽化しており、毎年度維持費に相当な金額を要しております。そこで来年度からはこの取り組みを全校に広げること考えています。

参加者 埼玉県はプール等の施設が少ないと言われているので、学校のプールを屋内プールに建て替えることで市民の方が利用できるようにするというのも考えられるのではないのでしょうか。

市長 学校のプールをすべて屋内プールに建て替えると、相当な費用負担となりますし、長いスパンで将来のことを考えると、どの学校も生徒数が減っていくことが予想されます。費用対効果を考えながら、市民の方の期待に応えられるような財源の活用を検討していきたいと思っています。

参加者 大井図書館の移転に伴って、休館中の9月25日からふじみ野ステラ・ウエストのオープンまでは上福岡図書館、上福岡西公民館図書室を利用しなければなりません。週に2回以上利用しているので、上福岡図書館まで行くとなると毎回、往復20分の時間と労力の増加が予想されます。開庁時間内にかまいませんので、臨時の受け渡し窓口を大井総合支所に設けていただきたいです。

市長 大井総合支所での臨時受け渡し窓口の開設については、今からどこま

で対応できるかはわかりませんが、再度検討します。

参加者 富士見市では市内の公民館など、14か所で本の受け渡しができるようになっています。ふじみ野市は3か所しかありませんので、もっと受け渡し場所を増やしてほしいと思います。

市長 富士見市に14か所の受け渡し窓口があるという件につきましては、図書館の位置とまちの面積を考慮かと思いますが、貴重なご意見として今後の検討に含めていきたいと思います。

参加者 市内の図書館に蔵書がなく、リクエストして取り寄せていただくことがよくあります。専門書については依頼するのが当然ですが、一般書についても近隣の図書館から借りられることが多いため、近隣の図書館の方が充実しているのではないかと感じます。もっと市民の要望を聞いて蔵書を充実させていただきたいです

市長 こちらにつきましても、貴重なご意見として今後の検討に含めていきたいと思います。

参加者 川越市は、市民であれば東京国際大学の図書館も利用できるようになっています。ふじみ野市にも文京学院大学があるので、利用できるようにしていただきたいです。もし既に制度があるのであれば紹介していただきたいです。

また、富士見の図書館では電子書籍が利用できます。ふじみ野市も時代に合わせた内容の充実をお願いしたいです。

市長 大学図書館の利用につきましては、市民の利便性の向上につながると思いますので、利用が可能かどうか調べさせていただきます。また電子書籍については、これから導入する予定になっています。

参加者 タウンミーティングで出た要望と対応結果について、ホームページに掲載していただいて、回覧板にも掲示していただきたいです。

市長 要望の対応結果までは載せていませんが、タウンミーティングのやり

取りの概要につきましてはホームページで公表させていただいています。

参加者 せっかくの機会なので回覧板も活用されるとよいと思います。

参加者 学校の先生の残業時間を月60時間に減らし、来年度には月45時間に減らすという話があります。単純に時間だけを減らすと、やることを減らすということになると思います。学校の部活動を地域のクラブチームに移管する話も聞きます。今後、学校がつまらなくならないか心配です。先生の残業時間を減らすことは大切なことだとは思いますが、お考えを聞きたいです。

市長 悩ましいことだと思います。部活動の地域移行は、先生の時間外勤務時間の長さが指摘されがちですが、それだけの問題ではありません。私たちが学生のころは部活動の種類も多くありました。しかし、学生の数が減少し、併せて先生の数も減少し、部活動そのものが小さくなってきています。その流れで部活の地域移行の話が出てきているのだと思います。

先生の数が不足しているため、今までのやり方では通常の勤務時間以上の時間が必要になります。自宅での勤務関係の勉強や情報収集をする時間は勤務時間とはみなされません。勤務の在り方を定義するのは難しいと思いますが、現場は簡単ではないというのが実情です。何が正しいのか正解はわかりませんが、本来ならば国がもう少し教育にお金をかけていくべきだと思っています。教育する人材の数を増やしたり、人材の地位や働く環境を整えたり、働き方改革だけではなく学校改革を考えていく必要があると思います。全国市長会に参加してきましたが、今いただいたような意見を持っている市長もいらっしゃいます。

一番大切なのは、主役である子どもたちの環境だと思います。この意見は、市民の方から直接出たご意見として伝えていきたいと思っています。ふじみ野市の学校については、国の押し付けではなく、子どもたちが一番大切という姿勢で進めていきたいと考えています。

参加者 鶴ヶ丘小学校の裏門から斜めに降りてくる道があります。駐車場のと

ころに透明なフェンスが2面あるのですが、2面だけだと子どもが見えず危険なため、透明なフェンスをもっと増やしてほしいです。

大した怪我ではありませんでしたが、10か月前に子どもが自転車で飛び出して事故が起きました。

要望を聞いていただいて透明のフェンスを1枚から2枚に増やしていただいたのですが、すべてが透明のフェンスになれば、車から子どもが見えるようになり、安全になると思うのですが。

市長 わかりました。戻りましたら、教育委員会に確認しておきます。

参加者 ふじみ野市のブランディングについてお伺いしたいです。元々流山市に住んでいましたが、流山市は子育てのブランディングに成功して人口の流入が増えています。ふじみ野市としてどこに重点を置いて市に人を呼びたいと考えているかを伺いたいです。

市長 私は就任以来、子ども優先の政策ということでやってきました。子ども優先ということは、子どもの生活していく環境を良くしていくこと、子育てしやすいまちを目指すということです。具体的には、保育所の定員の増員、子ども医療費の中学生までの無料化などを行いました。学校の大規模改修についても、他の市と比較して1校ごとに億単位で違うくらい予算をかけて改修を行っています。教室へのエアコンの設置についてもいち早く対応を行いました。体育館のエアコン設置についても埼玉県内では早い対応を行い、他の自治体から視察も来ている状況です。子ども関連の施策をすすめてきたことで、若年人口の増加率が埼玉県内第1位となったこともあります。

ふじみ野市のブランディングとして、子ども優先の政策は進めていきますが、これから高齢化が進んでいくので、高齢者が安心して暮らせるまちをコンセプトにさまざまな事業を進めていく必要があると考えています。子ども優先の政策により、転入超過で税収が上がり、その効果で高齢者向けの施策ができたということもあります。

まだまだ発展成長性があるまちということを示せるような、このまちで育つ子どもが誇りを持てるようなまちづくりを進めていきたいと考えています。

参加者 他の市と比べるとできたばかりの市という側面もあるので、これからいろいろな方向性を見せていただければと思います。

市長 合併によってできた市なので旧大井町と旧上福岡市とで制度の違いがありました。どちらが良いではなく、元々の大井町、上福岡市の歴史があります。その両方のいい部分を継承してふじみ野市流をつくりたいと考えています。また、市民の皆さんの声を反映するまちであることを知っていただきたいと考えています。ご期待に応えられるように頑張りたいと思います。

参加者 国道254号のバイパス沿いに物流センターが誘致されましたが、今後さらに増えてくるのでしょうか。

市長 簡単には増えてこないと思います。建物についてはあと2棟増える予定で、それが最後になります。富士見市のららぽーとの付近も企業誘致を目指していますが、農業振興地域のため、なかなか転用が難しい状況でした。工事の事業認可を受けるために5年程度の長い期間を掛けて行ってきたので、近くのエリアで次の誘致を進めるのは簡単ではないと考えています。しかし、今回誘致した企業の固定資産税で市の税収としては5億円程度増える見込みです。

参加者 国道254号のバイパスから降りるところの道路が工事のためずっと通行止めなのですが、いつまで掛かるのでしょうか。

市長 3桁の数字の国道の管理は県の管理となるため、国道254号バイパスは埼玉県が管理しています。耐震補強のための工事ですが、段取りが4回に分かれているため、1年間に進められる量が限られており、時間が掛かるようです。